

① 2014年末の高齢者の大掃除実態

- ・単身高齢者の大掃除実施率は30.5%。家族と同居する高齢者の約半数
- ・同居家族の有無が大掃除実施に影響。単身高齢者は体力的負担を感じやすい？

高齢者の2014年末の大掃除実施率は54.8%でした。しかし家族構成別にみると、**家族と同居している高齢者は58.6%**だった一方、**単身の場合は30.5%**で、家族と同居している高齢者の約2分の1でした。反対に、大掃除をしなかった人にその理由を聞いたところ、家族と同居している高齢者は家族間での分担も可能なためか「普段からこまめに掃除しているから」が最も多い一方、単身の高齢者は「汚れていなかった」や、自分一人で行わなければならないためか「体力的な負担が大きい」ことを理由に挙げていました。**高齢者の大掃除においては、同居家族がいるかどうかによって取り組み方が大きく異なる**ことが分かりました。

図1 : 2014年末の大掃除実施率

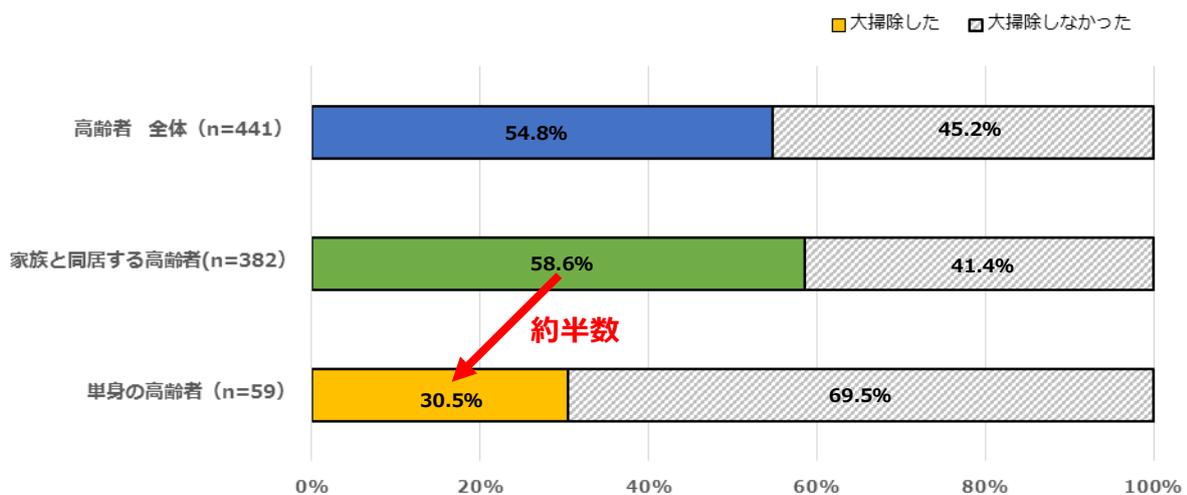
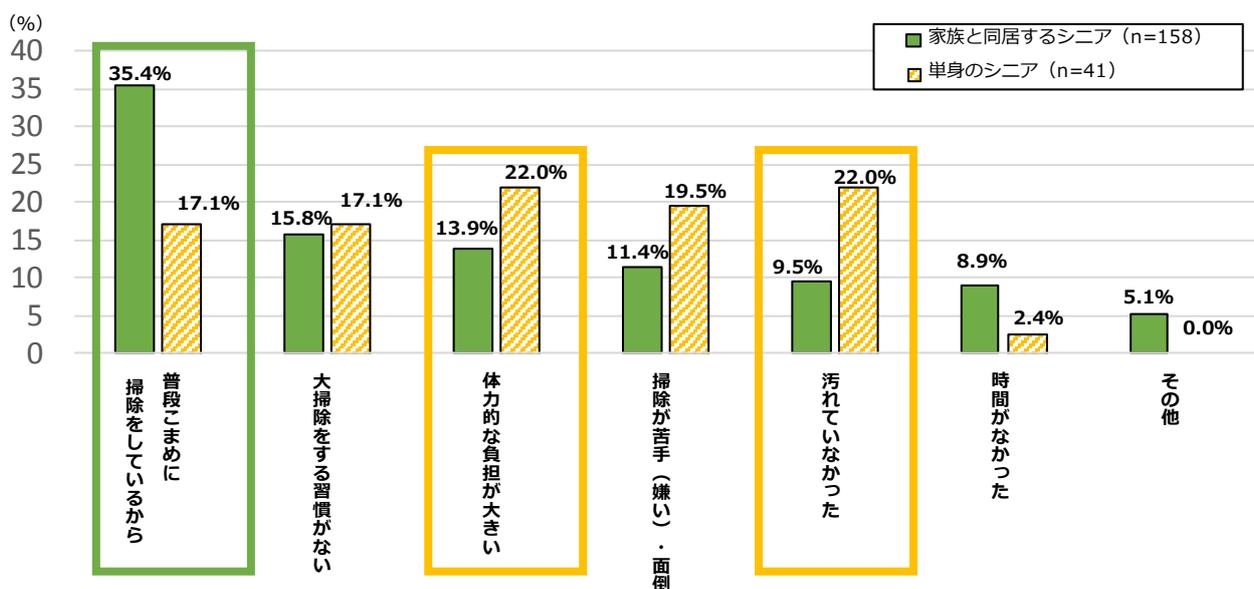


図2 : 大掃除をしなかった理由



②実家の大掃除を手伝った経験

- ・配偶者の実家の大掃除を親と別居の既婚者の18.4%が経験。浴室掃除は義理の息子&娘には頼み辛い？
- ・配偶者の実家の大掃除は気疲れの連続！？実家の大掃除で大変だったこと。

親と同居していない既婚者を対象に、結婚後に実家の大掃除を手伝ったことがあるか聞いたところ、**自分の実家の大掃除を手伝ったことがある人は37.7%、配偶者の実家の大掃除を手伝ったことがある人は18.4%**でした。掃除を手伝った場所を見ると、自分の実家での実施率と配偶者の実家での実施率に最も差があったのは「浴室」でした。カビなどの頑固な汚れも多いため、義理の息子や娘には掃除を頼みづらく、また、義父母のプライベートな場所の掃除に躊躇する義理の息子や娘の様子もうかがえます。実家の大掃除の大変な点は、自分の実家の場合は古さや使い勝手の悪さによる“掃除の不便さ”を挙げる人が多いですが、配偶者の実家の場合は何をやるにも“気疲れする”という意見が多く寄せられました。

図3 : <上> 実家の大掃除を手伝った経験

図4 : <下> 実家の大掃除で掃除した場所

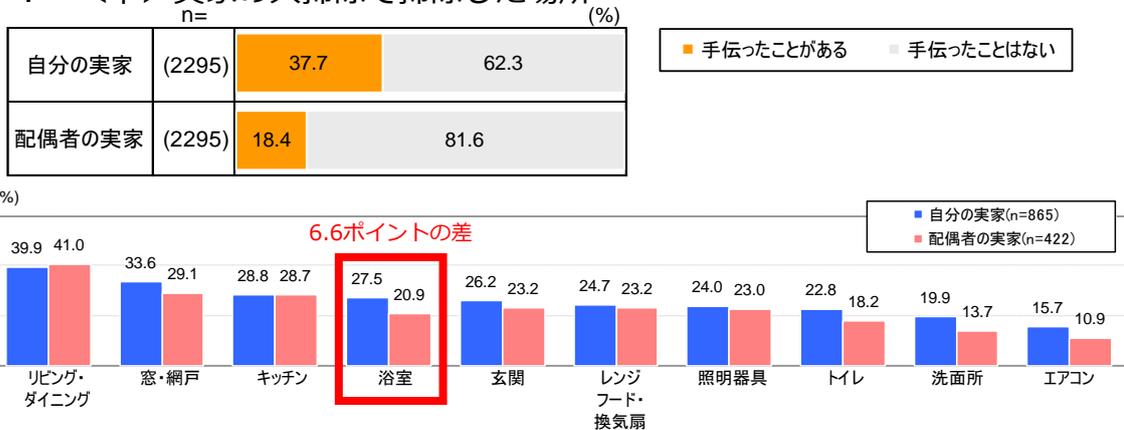


図5 : 実家の大掃除で大変だったエピソード

自分の実家

- ・どこに物があるのか分からず、二度手間になることが多かった(男性/24歳)
- ・片付けていいのかわからない物が多く、時間がかかった (男性/33歳)
- ・古い家なので、掃除をしている際に寒かった(女性/34歳)
- ・親は歳で見えていないのか、トイレのウォッシュレットがすごく汚れていて大変だった(女性/40歳)
- ・いろいろと指示が多く、やり辛かった(男性/43歳)
- ・庭が広いので、草引きや掃き掃除が大変だった(男性/47歳)
- ・使い慣れた洗剤や道具がない(女性/55歳)

配偶者の実家

- ・勝手に捨てられないので確認を取るのが大変(女性/29歳)
- ・動かしていいものとダメなものの区別が分からなかった(男性/32歳)
- ・自分の物ではないため捨てられず、片付けがなかなか進まなかった(女性/34歳)
- ・どこまで掃除したらよいか気を使うところ(女性/44歳)
- ・自分の家ではないので、やりにくかった。掃除道具なども違うので掃除しにくい。気も使う(女性/46歳)
- ・部屋数が多いので窓の数も多くて苦労した(男性/48歳)
- ・捨てていいものか聞けず困った (男性/52歳)

【 調査概要 】

- 調査目的 : 2014年末の大掃除についての意識・実態把握
- 調査対象 : 20歳以上の男女
- 調査地域 : 全国 (エリア区分: 北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州)
- 調査方法 : インターネットリサーチ
- 調査時期 : 2015年1月30日(金)～2月2日(月)
- サンプル数 : 4,160サンプル [うち高齢者(65歳以上) 441人]